

ワークショップ開催のご案内と論文募集

ソーラーヴィークルとソーラーバイシクルに関する

ワークショップ 2006 in EVS-22

Workshop on Solar Vehicles and Solar Bicycles 2006 in EVS22

—— 燃料電池と太陽電池による再生可能エネルギー・モビリティをめざして ——

開催日：28 October, 2006 (平成 18 年 10 月 28 日(土))

オーラルプレゼンテーション、ポスターセッション

開催場所：横浜 (パシフィコ横浜) アネックスホール

〒220-0012 横浜市西区みなとみらい 1-1-1 TEL. 045-221-2155

URL. <http://www.pacifico.co.jp/>

主催：玉川大学

後援 (申請中を含む)：日本太陽エネルギー学会、エネルギー資源学会、応用物理学会、全日本学生ソーラーカーチャンピオンシップ組織委員会、ワールドソーラーカーラリー組織委員会、(クリーン・エナジー・アライアンス)、ISF (国際ソーラーカー連盟)、燃料電池実用化推進協議会、
日本自動車研究所

ワークショップ実行委員会 実行委員長 塚田 稔

事務担当 学術研究所 落合 博美

電話：042-739-8666, Fax：042-739-8663,

E-mail：t.instit@adm.tamagawa.ac.jp

再生可能な社会の実現に向けた再生可能エネルギーの有効利用と環境問題の解決は、日本のみならず世界的な重要課題としてクローズアップされております。ソーラーヴィークル、ソーラーバイシクルの設計・製作と創意・工夫、さらにはこれに関連する工学的・学術的研究は、単にレースに参加し、競技に勝つことのためばかりでなく、ソーラーエネルギー利用にかかわる問題点の抽出、有効利用技術の向上、さらには環境問題への啓蒙に深くかかわっておりますことをご承知の通りであります。

玉川大学では、2000年に、関係各位のご協力のもとに、第1回目のワークショップ「ソーラーヴィークルとソーラーバイシクルに関するワークショップ2000」を企画、主催いたしました。オーラルセッション、ポスターセッション合わせて24件の発表があり、参加者も100名を越え、実りの多いワークショップとすることができました。2002年に開催された第二回目のワークショップは、さらなる発展を期してソーラーヴィークル、ソーラーバイシクル、エコノ・ムーブ(エコ・カー)、電気自動車に関連するテーマに加え、再生可能な社会をつくるために有効な手段として期待されるきれいなエネルギーをつくる技術、エネルギーを有効に使う技術に関連する分野を「環境・ソフトエネルギー」として、新たにセッションテーマとし

て加えました。セッション「環境・ソフトエネルギー」での発表6件を含め、27件の発表があり、200名を越えた参加者からも、ワークショップを今後も続けてほしいという強いご要望を受けたワークショップでありました。さらに第3回目の2004年には、副題として「燃料電池と太陽電池による再生エネルギーをもとめて」を付け、燃料電池自動車の関連研究の発表も加わりました。

第22回国際電気自動車シンポジウム、略称EVS-22が、2006年10月23日(月)~28日(土)パシフィコ横浜にて開催されます。今回で第4回目になります「ソーラーヴィークルとソーラーバイクに関するワークショップ」をこのEVS-22のワークショップの一部として開催するお誘いを頂きました。

このような経緯をふまえ、セッション「環境・ソフトエネルギー」を通常セッションとして扱うことにし、燃料電池とその応用をも含めた

- (1) ソーラーヴィークル及びソーラーバイク、エコノムーブ、電気自動車関連する内容、
- (2) きれいなエネルギーを作る技術および地球温暖化防止技術およびエネルギーを有効に使う技術に関連する内容
- (3) レース参加に向けた日頃の活動、レース参加記録などの諸活動の報告や記録写真などを中心とする活動報告

さらに、「再生可能社会の実現・環境問題」に理解を深める目的で

- (4) ものづくり工学教育と再生可能エネルギー創出に関する実践・活動報告

を特別セッションとする「ソーラーヴィークルとソーラーバイクに関するワークショップ 2006 in EVS」を企画・立案いたしました。参加者相互の交流と情報・意見の交換を通じて知識・技術のさらなる向上をはかることが目的の一つでありますことは言うまでもありませんが、環境にやさしいものづくりの大切さと必要性を認識するとともに、ものづくりの“心”と“夢”を育てる場を提供することも目的の一つです。企業、大学、高等専門学校、高等学校、クラブチームの如何を問わずワークショップ開催を呼びかけ、実り多いワークショップにしたいものとお願いいたしております。

開催セッション

次の二つのセッションを設けます。

- (1) オーラルセッション

発表時間 15分(予定)の中で、OHP、パワーポイントなどをつかって口頭発表するセッションです。

- (2) ポスターセッション

一つの発表を図、表、写真を含めて模造紙2枚程度のポスターにまとめていただき、ポスターを発表会場に展示します。発表当日は会場においていただき、会場を訪れた方々に発表内容をマンツーマンで説明していただき、その場で質疑応答や情報交換をしていただきます。ポスター発表専用会場をオーラルセッション会場とは別に用意いたします。

セッションテーマ

- (1) ソーラーヴィークル及びソーラーバイク、エコノムーブ、電気自動車、ハイブリッドソーラーカーに関連する内容で

- 機械系(車体、駆動系、操安性、空力性能、デザインコンセプト)、電気・電子系(電装システム、情報伝送・記録、太陽電池、スーパーコンデンサ、モーター、燃料電池)などの諸分野に関する発表・報告、評価、戦略など
- 設計、製作、創意工夫やレース参加に向けた日頃の活動、レース参加記録などの諸活動の報告や記録写真などを中心とする活動報告。

- (2) 環境・ソフトエネルギー

きれいなエネルギーを作る技術および地球温暖化防止技術

発表時間

(1) オーラルセッション (口頭発表)

*発表時間 15 分、質疑応答 5 分を予定。

(2) ポスターセッション

*ワークショップ参加者への内容の説明、情報交換、質疑応答のための時間帯を 1 時間程度設ける予定。 *この時間帯以外でも来場者への発表内容の説明は自由。

オーラルセッション、ポスターセッションの論文募集

- (1) セッションは、論文を日本語で発表討論するもので、オーラルセッションとポスターセッションとがあります。どちらのセッションで発表するか希望をお書きいただきますが、ワークショッププロシーディングス編集委員会で最終決定致します。
- (2) オーラルセッション、ポスターセッションのどちらのセッションで発表するかにかかわらず、全ての発表論文はプロシーディングス (発表論文集) に収録致します。
- (3) 発表論文のページ数は、最大限 10 ページまでとします。
- (4) ポスターセッションでの発表の場合、プロシーディングスに収録する発表論文は、ポスターを A4 版に縮刷したものでも可と致しますが、論文形式 (10 ページ以内) の提出を推奨いたします。

申込み期限と原稿締切、

論文発表申込み期限

仮題目申し込み、参加申し込み： ~~2006年6月10日(土)~~ 8月5日(土)

題目最終確認： ~~2006年8月5日(土)~~ 8月12日(土)

参加申込用紙に所定の事項を御記入のうえ下記宛御返送下さい。

オーラルセッション、ポスターセッションのいずれかを明示し、どちらの場合でも発表者(共著者含む)氏名、所属、所在地、講演題目、500 字程度のアブストラクト、キーワード (5 単語) を添えて下さい。

論文原稿作成方法につきましては、発表申し込み受付しだい「執筆要領およびカメラレディ原稿のフォーマット」を E-mail にて配信いたします。

原稿締切

プロシーディングス (報告論文集) の編集、製本の日程上の制約からオーラルセッション、ポスターセッションともに

平成 16 年 9 月 2 日(土)

とします。

原稿は、論文のカメラレディのオリジナル 1 部、MS-Word ファイルを

〒194-8610 東京都町田市玉川学園 6-1-1

玉川大学工学部メディアネットワーク学科 教授 小原 宏之

TEL 042-739-8441 (研究室)、042-739-8566 (ソーラーカー工房)

FAX 042-739-8858

E-mail : hiroyuki@eng.tamagawa.ac.jp

宛お送り下さい。

原稿作成方法

原稿はそのまま A4 版にオフセット印刷します。「執筆要綱およびカメラレディ原稿のフォーマットについて」をご参照のうえ作成してください。論文のページ数等にかかわらず全ての論文は同じフォーマットとします。

ポスターセッション用論文の場合、A4 縮刷版作成については「ポスターセッション用執筆要綱およびカメラレディ原稿のフォーマットについて」を参照の上作成してください。A4 縮刷版をマイクロソフトのワードを用いて先に作成し、これを模造紙の大きさまで拡大して印刷し、ポスターとして利用することは可能です。もし、ご希望があれば、A4 縮刷版の原稿を CD-ROM でご提出くだされば、当方のプリンターを使って拡大印刷のお手伝いをいたします。準備の都合もありますので、ご希望の旨を早めにお申し出ください。また、オーラルセッションと同じスタイルでの論文掲載をご希望の場合は、上記「執筆要綱およびカメラレディ原稿のフォーマットについて」にしたがって論文原稿を作成してください。

ワークショップ参加登録費

一般：3,000 円、 企業：5,000 円、 学生：(割引をお願い中です。)

(本参加登録費は、会場・機材費の一部として EVS-22 の事務局へ納めます)

参加者へは、プロシーディングを配布いたします。

☆ 参加申し込みも 2006 年 ~~6 月 10 日 (土)~~ 8 月 12 日 (土) までに頂けると会場の手配の都合上有り難いです。